

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 17 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103037		
法人名	テルウェル西日本株式会社		
事業所名	テルウェル西日本愛松園 グループホーム愛松園		
所在地	松山市喜与町1-8-4 (電話) 089-934-3700		
管理者	堀内 富士子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 10 月 14 日	評価確定日	平成 20 年 11 月 19 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 22 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 2 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15 人, 非常勤 人, 常勤換算 15 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,300 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 22 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護 1	4 名	要介護 2	3 名
要介護 3	3 名	要介護 4	3 名
要介護 5	5 名	要支援 2	名
年齢	平均 85.3 歳	最低 75 歳	最高 93 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くに病院・マンション・住宅等が立ち並ぶ市中心部に、3階建てビルの2階を利用したホームがある。開設から5年8か月を経過して利用者の症状は進んでおり、支援の内容も少しずつ変化しており工夫が必要な時期を迎えている。職員の異動もあり、業務の見直しや教育・研修の機会を確保したり、個々の意識づけに努力している。地域の中で生活の場を広げることについて、具体的に地域の特性を考えながら検討している。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
地域との関わりの必要性は理解しており、具体的に情報を発信、収集することで関わりを模索している。運営推進会議や行事を通じて交流が図られてきており、地域からの理解も深まっている。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
全員で項目や内容を理解し検討することでケアの振り返りとなっており、改善に向けての意欲がある。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
定期的開催し、ホームの状況報告を行うことでホームを理解してもらうのに役立っている。タイムリーな議題を取り上げての勉強会を開催したり、地域の行事や活動についての情報収集の場にもなるなど、有効に活用している。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
来訪時に家族と情報交換をしたり、電話や手紙で生活ぶりを伝えており、家族から出された意見等は職員間で共有して検討し、できるだけ早く対応している。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
運営推進会議や行事への参加を重ねることで地域の方との繋がりができており、地域の情報も蓄積されつつある。ご近所との付き合いは地域性もあって個々には難しい面があるが、ホームの役割を果たしつつ、利用者が地域で主役となって生活することが可能となる取り組みが今後の課題である。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 テルウェル西日本グループホーム愛松園

(ユニット名) ひまわり

記入者(管理者)
氏名 堀内富士子

評価完了日 平成 20 年 9 月 22 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所としての理念は掲げているが、地域との関わりは薄い。 (外部評価) 地域の中でその人らしい生活を支えていくという、ホーム独自の理念を作っている。地域との関わりや業務の見直しも含め、今後も理念の検討を続ける予定にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員全員で作り上げた理念に基づき介護に取り組んでいる。職員の定着率が低いため、今後は、新たに職員会議等で理念について話し合いたい。 (外部評価) 利用者や来訪者等の目にも触れるわかりやすい場所に掲示しており、職員の採用時等にも理念について職員間で話し合っている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等で話し合いの機会を持ち、地域に向けても理念の浸透を図りたい。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 病院、駐車場に囲まれた立地条件のため近所付き合いが少ない。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 盆踊り、地方祭などに参加している。 (外部評価) 地域との交流の必要性は常に考えており、運営推進会議や近所付き合いで町内の情報を集めている。地方祭の子どもみこしの集合場所を提供したり、ホームに会議等に利用できる部屋があるため提供を申し出たり、散歩や買い物での挨拶等、少しずつ積み重ねてきているが、市内中心部という地域性もあり充分とはいえない。	※	市内の中心部で病院やマンション・閑静な住宅地等に囲まれた立地であり近所付き合いは難しいが、ホームの役割を示したり、特性を出した地域との関わりを模索し続けることを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地方祭の子どもみこしの集合場所として利用していただき、その後、交流会をもっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の結果に基づき、職員会議で話し合いを行い、職員研修も実施した。 (外部評価) 全職員で意見を出し合い、各ユニットの責任者と管理者でまとめている。評価の意義は理解しており、改善に向けて取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で話し合いの機会を持ち、評価への取り組みについて説明を行っている。また、取り上げられた意見を参考にしてサービス向上に活かしている。 (外部評価) ホームの情報はその都度報告し、勉強会等も開催している。意見や要望にはできるだけ速やかに対応し、サービスの向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) グループホーム連絡会が開催されるようになり、市の担当者も参加されている。連絡会には積極的に参加している。 (外部評価) 各手続きや報告時に連絡・相談している。地域包括支援センターとはグループホーム連絡会や運営推進会議等を通じて連携し、質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員会議等で検討し、勉強会を開くか他の研修会等にも参加できるようにしていきたい。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会議で話し合い虐待がないように注意している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用にあたっては事前に説明を行い、契約に至るまでに十分な時間を取っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見に耳を傾け、できる限りの対応をしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 個人のおたよりを毎月1回出している。内容は、グループホームでの生活などを中心に報告している。その他、金銭管理についても毎月報告を行っている。 (外部評価) 家族の来訪時、電話連絡時、定期的な書類送付時、行事の参加案内時、家族会等の機会を捉えて情報交換、報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会を定期的に開催している。家族同士での話し合いの場も設けている。結果については、代表者より報告を受け対応している。 (外部評価) できるだけ意見を出しやすくする対応を心がけている。ホーム内及び外部機関への苦情相談等については具体的に説明している。寄せられた意見は職員間で共有し、改善に向けて努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回職員会議を開き意見を反映する機会を作っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 労働基準法に基づいた勤務体制を取っており、必要に応じて可能な範囲で調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職、異動は最小限に留めるようにしているが、現状では難しい。 (外部評価) 離職や異動が利用者に影響することを考え、異動はできるだけ少なくしているが、やむを得ない場合は職員ができるだけ情報を共有し、配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人職員を中心とした研修会を開催し、法人内での交流会も定期的で開催している。 (外部評価) 新規採用者を中心に、研修・勉強会や交流会を定期的で開催している。外部の研修会には順番に費用は会社負担で参加しており、受講後に報告等している。管理者は時間をかけるだけでなく個々に意識付けを行うことを大切にしているが、十分な効果があがっているとは言えない。	※	ホーム内の定期的な勉強会等開催による教育機会の確保、職員のレベルに応じた外部研修への参加働きかけ、研修後の報告・伝達等についてより充実することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣の施設へ利用者と共に訪問し、音楽会などを通じて交流を深めている。 (外部評価) 同系列のホームと交流しており、最近では書類について検討している。地域包括支援センターが中心となってグループホーム連絡会が開催されており、参加して情報交換している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員間で相互交流のために食事会をしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 勤務評価を行っており、個々の努力によって給料に反映するようにしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用前の訪問時より、できるだけ話し合いの機会を作るようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用前の訪問時より、できるだけ話し合いの機会を作るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族より話を聞き対応する。最優先すべき課題について検討し、希望が叶えられるようにする。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人の希望を受け入れながら、職員の押し付けにならないように話し合い、徐々に関係を深めていく。 (外部評価) 同建物内にある同法人のデイサービスを利用している方とはすでに馴染みの関係があり、ホーム入居にあたっての納得が得やすい。それ以外の方は見学や体験利用をしたり、職員が自宅を訪問し、本人・家族と面談するなどして、安心して納得した利用ができるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に利用者にしてあげる姿勢ではなく、対等な関係として共に支え合いながら利用者と一緒に過ごしている。 (外部評価) 挨拶をきちんとしており、共に生活するという姿勢を保つよう心がけている。利用者の表情も豊かで、意思表示や心づかいも感じられる。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族とも話し合いながら本人を支えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の思いを受け止めながら、今までの関係が途切れないように面会に来ていただいたり、毎月の便りを出している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 関係を維持できるようにしているが、高齢化に伴い難しい面も出てきている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 居室を訪問してみんなでお茶を飲んだりする機会を設け、利用者同士の関わりがスムーズにいくように支援している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用者、家族との関係には、できるだけ関わっていき、その後もつきあいが継続しているケースもある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) だんだんと、本人が意向を伝えることが困難になってきているが、家族から聞き取りをしたり、本人の表情を観察したりしながら思いをくみ取るように努力している。 (外部評価) 家族の協力を得ながら、日々の暮らしの中で意向を把握している。少しずつ把握することが困難になっている利用者については、職員間でより情報を共有して取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) サービス利用にあたり、事前に本人、家族から聞き取りを行っている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 本人の意向を尊重しながら、心身状態が低下しないように過ごすことができるように努める。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 毎月1回ケースカンファレンスを行い、職員全員で計画作成を行っている。家族とも話し合いの機会を持つようにしている。 (外部評価) 毎月一回ケースカンファレンスをして、全職員が計画作成に参加している。家族とも話し合いの機会を持ち、意見を反映した計画となっている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 状況の変化に応じて見直しを行っている。 (外部評価) 定期的に月一回行い、また必要に応じてその時々状態に対応したものとなるよう見直ししている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の変化を記録し、毎日申し送りもしている。情報を共有し実践に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) デイサービスとの交流をしている。病院受診にも柔軟に対応している。 (外部評価) 医療機関の受診や帰宅、美容院等への外出等の送迎をホームだけでなくデイサービスの車も活用しながら対応している。生活を広げる支援は必要との認識のもと、利用者等の要望には可能な範囲で応じる姿勢をとっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員さん、ボランティアさんの協力により地域活動にも参加している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて他のサービスを利用するための支援を行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 2ヶ月に1回の運営推進会議に加えて、グループホーム連絡会も開催している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及び家族の希望により主治医に受診し、必要に応じて、眼科、歯科等の往診にも来てもらっている。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を支援し、必要に応じて協力医療機関の受診や往診にも対応している。管理者や看護師が主となり、医療機関との関係を築きながら適切な医療が受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 同行受診し、職員も状態や薬のこと等いろいろ相談している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携体制により看護師を配置している。日常の健康管理や医療関係のことも話し合っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 本人、家族とも相談し、病院関係者との話し合いで早期退院に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療連携体制により「看取りの指針」を策定している。 (外部評価) 看取りの指針を策定し、利用者や家族に説明している。家族等に終末期等について実感が無い状態からの継続した働きかけの必要を感じ、早い段階からその時々希望を確認している。		今後は、希望があれば家族との話し合いの機会を持ちたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療連携体制にあたって説明を行った。		個別の話し合いについては、今後、検討したい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人及び家族との話し合いの機会を作っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーを守るべく十分注意をしている。 (外部評価) 言葉かけや対応は誇りを損ねることなくきちんとしている。記録類は事務所にて管理し、居間で記録する日中の書類は扉つきの机に保管しており、個人情報に配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) できるだけ希望に添いながら、難しい場合も説明を行い、理解していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 特に日課はなく、個人のペースに合わせて支援している。 (外部評価) ホームの決まったスケジュールは少なく、個々の利用者の生活パターンを尊重している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 好みの洋服の購入や、馴染みの美容室を利用したりしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日、一緒に食事を作り、準備から片づけまでしている。 (外部評価) 利用者と共に、力に応じて材料材を切る、下ごしらえ、配膳、下膳、食器洗い等をしてもらっている。個々の利用者の好みを理解し、支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 日によっておやつメニューを考えており市販のものや手づくりのものを取り混ぜている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄のパターンを把握し、誘導を行いながらパットの使用を減らす。また定期的に声をかけ不快感のないようにしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 定期的な入浴のほかに、本人の要望があれば対応している。 (外部評価) 少なくとも3日に1回は入浴できるよう支援している。好みによっては毎日入浴する利用者もいる。入浴を嫌がる方への支援は個々の働きかけを工夫している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 本人の生活習慣に合わせてながら、状況に応じた対応をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 日々の生活の中で調理、掃除、洗濯などできることをしていただいている。その他、趣味の歌を歌ったり、楽器演奏をしたりしている。 (外部評価) 一人ひとりの生活歴や生活力を知り、日々張り合いのある生活を送るため、楽器の演奏・歌を歌う・買い物や美術館に行く・園芸・掃除洗濯の家事等を楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の能力に応じて金銭管理ができるようにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) できるだけ対応しているが、職員の配置上難しい。 (外部評価) 体力や気候を考慮しながら希望にそった支援になるよう、日々の散歩やデパート等への買い物をはじめ、月一回程度は弁当持参で出かけたり、観劇等も計画して外出機会の確保に努めている。次第に利用者の状態や職員体制の面で日常的な外出が難しくなっている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 年1回の利用者、家族とのバスツアーを企画している。その他、季節ごとに外出の機会を作っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望に応じて支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも来ていただけるように、普段から気軽に声をかけ行事にも積極的に参加していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の弊害を理解しつつ、リスクも考えながら取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は、出入りができるように鍵をかけていない。 (外部評価) 職員は鍵をかけないケアを理解して実践している。ホームは2階にあり、エレベーターを使用している。日中は自由に出入りできるよう施錠しておらず、職員は利用者の行動パターンを確認しており、必要時は声かけをしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 定期的に見守り、物音の変化にもすぐ対応している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険なものは戸棚に収納し、他の物品も目の届かないところに保管している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故発生後には、再発防止についてミーティングを行っている。日頃から状況の変化にも注意をしている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の対応について職員会議で話し合った。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 内部での避難訓練は行っているが、地域の人の協力を得るまでにはなっていない。 (外部評価) マニュアルを作成しており、年2回の防災訓練を実施しているが、地域の協力を得るまでには至っていない。	※	地域性もあって難しい面はあるが、地区の自主防災組織関係者や近隣住民等と連携して検討や訓練を続けていける関係づくりを望みたい。また、火災だけでなく地震等の非常災害時における対応や備蓄の検討、喫煙者への対応等についても取組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族にも、リスクについての説明を行い、できるだけ抑圧感のないような対応策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常より観察を行い、緊急時には病院受診等で対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬については理解しつつ症状の変化に応じて医師とも相談している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳やヨーグルト、水分摂取に努めている。必要に応じて排便チェックを行い、それでも排便のない場合は薬も服用している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個人の生活習慣に合わせながら、できない場合は声をかけ見守りをしながら支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人に合わせた摂取量を確保し、必要な人には水分量等もチェックしている。 (外部評価) 食材と共に献立表と調理法を業者に配達してもらっており、栄養面での支援はできている。職員は摂取量や水分量が一人ひとり確保できているか確認している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 手洗いをこまめに行い、アルコール消毒も行っている。利用者、職員、全員に予防接種を行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具を清潔に保ち、食材の保管、使用にも気を配っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りには、花を植え季節感を出している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有の廊下に楽器を置いて、体操や歌の時間に利用している。 (外部評価) 廊下、トイレ、浴室等に手すりや滑り止め等を使用して安全に配慮している。台所とリビングは見通しがよく、作業しやすい。リビングはイス、テーブル、ソファの配置で個々に居場所ができています。日差しは簾やカーテンで調節している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下にソファを置いており、個人や利用者同士で過ごしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅より持ち込まれた物もあり、居室内は自由にレイアウトしていただいている。状態に応じて模様替えも行っている。 (外部評価) 畳の部屋、フローリングの部屋など、必要や好みによって室内を整えている。自宅から仏壇、写真、手芸品、花、鏡台、タンス、机、イスなどを各自持ち込み、個性を感じる居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日、窓を開けて換気には注意を払っている。温度調整は、利用者に合わせている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 個人の身体機能に応じた環境作りを行っている。手すり等にも工夫を凝らしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 家族からも情報を収集し、本人にとってできるだけ混乱がないような工夫をしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 1階の花壇の水遣りを利用者と一緒に行っている。物干し台、ウッドデッキと利用者に合わせてベランダを利用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	普段の会話の中や、家族との対話の中からそれぞれの思いをくみ取り対応している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	食事の後は、ゆっくりとコーヒーを飲んだり、話をして過ごすことが多い。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	思い思いのペースで過ごし、無理な押しつけはしない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	個別対応により、利用者の笑顔を引き出せている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	状況により可能な場合もあるが、すべての希望を受け入れることは難しい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	病院に隣接しており、夜間や緊急事態にも対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	状況の変化により、食事等の対応を柔軟にしており、病院受診も適宜行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	家族との話し合いの場を持ち、家族の訪問時には話しやすい雰囲気作りを心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	個人の住宅が少なく、地域の人々が訪ねてくることも少ない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	会議には、町内会長さん、民生委員さんのご参加をお願いしている。町内の盆踊り大会では、当園用にスペースを確保していただいている。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者とのふれあいの中で得られることが多い。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の訴えがない人も多いが、笑顔が多いのでほぼ満足していただいていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	職員体制のこともあり、すべてのご要望にお応えする事は難しい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 テルウェル西日本グループホーム愛松園

(ユニット名) みかん

記入者(管理者)

氏名 堀内富士子

評価完了日 平成 20 年 9 月 22 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所としての理念は掲げているが、地域との関わりは薄い。 (外部評価) 地域の中でその人らしい生活を支えていくという、ホーム独自の理念を作っている。地域との関わりや業務の見直しも含め、今後も理念の検討を続ける予定にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員全員で作り上げた理念に基づき介護に取り組んでいる。職員の定着率が低いため、今後は、あらたに職員会議等で理念について話し合いたい。 (外部評価) 利用者や来訪者等の目にも触れるわかりやすい場所に掲示しており、職員の採用時等にも理念について職員間で話し合っている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等で話し合いの機会を持ち、地域に向けても浸透を図りたい。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) もともと近所に住んでいた人が多いので、散歩の際に声をかけられることが多い。立ち寄っていただくこともある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 盆踊り、地方祭などに参加している。 (外部評価) 地域との交流の必要性は常に考えており、運営推進会議や近所付き合いで町内の情報を集めている。地方祭の子どもみこしの集合場所を提供したり、ホームに会議等に利用できる部屋があるため提供を申し出たり、散歩や買い物での挨拶等、少しずつ積み重ねてきているが、市内中心部という地域性もあり充分とはいえない。	※	市内の中心部で病院やマンション・閑静な住宅地等に囲まれた立地であり近所付き合いは難しいが、ホームの役割を示したり、特性を出した地域との関わりを模索し続けることを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地方祭の子どもみこしの集合場所として利用していただいている。その後、交流会をもっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の結果に基づき、職員会議で話し合いを行い、職員研修も実施した。 (外部評価) 全職員で意見を出し合い、各ユニットの責任者と管理者でまとめている。評価の意義は理解しており、改善に向けて取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議等で話し合いの機会を持ち、評価への取り組みについて説明を行っている。また、取り上げられた意見を参考にしてサービス向上に活かしている。 (外部評価) ホームの情報はその都度報告し、勉強会等も開催している。意見や要望にはできるだけ速やかに対応し、サービスの向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) グループホーム連絡会が開催されるようになり、市の担当者も参加されている。連絡会には積極的に参加している。 (外部評価) 各手続きや報告時に連絡・相談している。地域包括支援センターとはグループホーム連絡会や運営推進会議等を通じて連携し、質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員会議等で検討し、勉強会を開くか他の研修会等にも参加できるようにしたい。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会議で話し合い虐待がないように注意している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用にあたっては事前に説明を行い、契約に至るまでに十分な時間を取っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見に耳を傾け、できる限りの対応をしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 個人のお便りを毎月1回出している。内容は、グループホームでの生活などを中心に報告している。その他、金銭管理についても毎月報告を行っている。 (外部評価) 家族の来訪時、電話連絡時、定期的な書類送付時、行事の参加案内時、家族会等の機会を捉えて情報交換、報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会を定期的で開催している。家族同士の話し合いの場も設けている。結果については、代表者より報告を受け対応している。 (外部評価) できるだけ意見を出しやすくする対応を心がけている。ホーム内及び外部機関への苦情相談等については具体的に説明している。寄せられた意見は職員間で共有し、改善に向けて努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回職員会議を開き意見を聞く機会を作っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 労働基準法に基づいた勤務体制を取っており、必要に応じて可能な範囲で調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職、異動は最小限に留めるようにしているが、現状では難しい。 (外部評価) 離職や異動が利用者に影響することを考え、異動はできるだけ少なくしているが、やむを得ない場合は職員ができるだけ情報を共有し、配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人職員を中心とした研修会を開催し、法人内での交流会も定期的に開催している。 (外部評価) 新規採用者を中心に、研修・勉強会や交流会を定期的に開催している。外部の研修会には順番に費用は会社負担で参加しており、受講後に報告等している。管理者は時間をかけるだけでなく個々に意識付けを行うことを大切にしているが、十分な効果があがっているとは言えない。	※	ホーム内の定期的な勉強会等開催による教育機会の確保、職員のレベルに応じた外部研修への参加働きかけ、研修後の報告・伝達等についてより充実することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣の施設へ利用者と共に訪問し、音楽会などを通じて交流を深めている。 (外部評価) 同系列のホームと交流しており、最近では書類について検討している。地域包括支援センターが中心となってグループホーム連絡会が開催されており、参加して情報交換している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 日頃から職員の様子に気を配り食事会等をしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 催事等のイベントにも率先して利用者を出かけている。個々の努力によって給料に反映するようにしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用前の訪問時より、できるだけ話し合いの機会を作るようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用前の訪問時より、できるだけ話し合いの機会を作るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族より話を聞き対応する。最優先する課題について検討し、希望が叶えられるようにする。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人の希望を受け入れながら、職員の押し付けにならないように話し合い、徐々に関係を深めていく。 (外部評価) 同建物内にある同法人のデイサービスを利用している方とはすでに馴染みの関係があり、ホーム入居にあたっての納得が得やすい。それ以外の方は見学や体験利用をしたり、職員が自宅を訪問し、本人・家族と面談するなどして、安心して納得した利用ができるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の意思や個性を尊重しながら関係を築いている。 (外部評価) 挨拶をきちんとしており、共に生活するという姿勢を保つよう心がけている。利用者の表情も豊かで、意思表示や心づかいも感じられる。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が来園のおりには、日常生活の様子や会話の内容などお話しさせていただきご家族にもご理解いただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の思いを受け止めながら、今までの関係を大切に し、毎月のお便りには、家族との思い出話など織り交ぜ てお出ししている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	(自己評価) 馴染みの店での買い物や、馴染みの店に立ち寄ったりし ている。知人には年賀状を出している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	(自己評価) 利用者の個性を把握し、相互の関係がスムーズにい くように心がけ介入しすぎないように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継 続的な関わりを必要とする利用者や家族に は、関係を断ち切らないつきあいを大切に している	(自己評価) サービス終了後も関係が途切れることなく、その後も来 園の機会を設け、相互に行き来ができるようにしてい る。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している	(自己評価) できるだけ本人から意向を聞き取り支援している。困難 な場合は、会話の中からキーワードになるような言葉を見 つけ、それを手がかりにし支援している。 (外部評価) 家族の協力を得ながら、日々の暮らしの中で意向を把握 している。少しずつ把握することが困難になっている利用 者については、職員間でより情報を共有して取り組ん でいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) サービス利用にあたり、本人、家族から聞き取りを行っている。必要に応じて利用後も把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の心身の状況の把握に努め記録し、職員間でも共有し利用者をサポートしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケースカンファレンスにて職員全員で話し合っている。できるだけ本人、家族と話をするようにしている。 (外部評価) 毎月一回ケースカンファレンスをして、全職員が計画作成に参加している。家族とも話し合いの機会を持ち、意見を反映した計画となっている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 状況の変化に応じて見直しを行っている。 (外部評価) 定期的に月一回行い、また必要に応じてその時々状態に対応したものとなるよう見直ししている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の変化を記録し、毎日申し送りをしている。情報を共有しながら実践にも活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) デイサービスとの連携を行っている。病院への受診もできるだけ対応している。 (外部評価) 医療機関の受診や帰宅、美容院等への外出等の送迎をホームだけでなくデイサービスの車も活用しながら対応している。生活を広げる支援は必要との認識のもと、利用者等の要望には可能な範囲で応じる姿勢をとっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアさんの協力により、地域活動に参加している。民生委員さんのご紹介により御詠歌クラブの指導をいただいている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて他のサービスを利用するための支援を行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 2ヶ月に1回の運営推進会議に加えて、グループホーム連絡会も開催している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及び家族の希望により主治医に受診し、必要に応じて、眼科、歯科等の往診にも来てもらっている。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を支援し、必要に応じて協力医療機関の受診や往診にも対応している。管理者や看護師が主となり、医療機関との関係を築きながら適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 同行受診し、職員も状態や薬のこと等いろいろ相談している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携体制により看護師を配置している。日常の健康管理や薬のことも話し合っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 本人、家族とも相談し、病院関係者との話し合いで早期退院に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療連携体制により「看取りの指針」を策定している。 (外部評価) 看取りの指針を策定し、利用者や家族に説明している。家族等に終末期等について実感が無い状態からの継続した働きかけの必要を感じ、早い段階からその時々希望を確認している。		今後は、希望があれば家族との話し合いの機会を持ちたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療連携体制にあたって説明を行った。		個別の話し合いについては、今後検討したい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人及び家族との話し合いの機会を作っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーを守るべく十分注意している。 (外部評価) 言葉かけや対応は誇りを損ねることなくきちんとしている。記録類は事務所にて管理し、居間で記録する日中の書類は扉つきの机に保管しており、個人情報に配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) できるだけ希望に添いながら、難しい場合も説明を行い、理解していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個人のペースに合わせた支援を行っている。 (外部評価) ホームの決まったスケジュールは少なく、個々の利用者の生活パターンを尊重している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自分で洋服を選んだり、化粧をして外出したり、また馴染みの美容室にも希望に応じて行けるようにしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日、一緒に食事を作り、準備から片づけまでしている。食事の好みも聞きながら食事作りに活かしている。 (外部評価) 利用者と共に、力に応じて材料材を切る、下ごしらえ、配膳、下膳、食器洗い等をしてもらっている。個々の利用者の好みを理解し、支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の状態、好みに合わせて楽しんでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンをつかみ、適宜誘導している。おむつ使用者には必要に応じた交換を行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 個人の要望に合わせて入浴を行っている。 (外部評価) 少なくとも3日に1回は入浴できるよう支援している。好みによっては毎日入浴する利用者もいる。入浴を嫌がる方への支援は個々の働きかけを工夫している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その日の状態に応じて、希望にそった対応をしている。夜間の安眠のためにも日中の過ごし方に配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 日々の生活の中で役割を持つことができるように、食事作りや裁縫などしていただいている。その他、気分転換のために外出支援も行っている。 (外部評価) 一人ひとりの生活歴や生活力を知り、日々張り合いのある生活を送るため、楽器の演奏・歌を歌う・買い物や美術館に行く・園芸・掃除洗濯の家事等を楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) それぞれの能力に応じた金銭管理ができるように支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) できるだけ対応しているが、職員の配置上無理な場合もある。 (外部評価) 体力や気候を考慮しながら希望にそった支援になるよう、日々の散歩やデパート等への買い物をはじめ、月一回程度は弁当持参で出かけたり、観劇等も計画して外出機会の確保に努めている。次第に利用者の状態や職員体制の面で日常的な外出が難しくなっている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 利用者、家族と共に年1回のバスツアーを企画している。その他、季節ごとに外出の機会を作っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 外部との連絡はいつでも取ることができる。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 毎日のように訪問される方もあり、気軽に来ていただけるように普段より声をかけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の弊害を知りつつ、リスクも考えながら取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は、出入りができるように鍵をかけていない。 (外部評価) 職員は鍵をかけないケアを理解して実践している。ホームは2階にあり、エレベーターを使用している。日中は自由に出入りできるよう施錠しておらず、職員は利用者の行動パターンを確認しており、必要時は声かけをしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 定期的に見守り、物音の変化にもすぐ対応ができるようにしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険なものは戸棚に収納し、他の物品も目の届かないところに保管している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故発生時には、ミーティングを行い防止策の検討を行っている。一人ひとりの日常の変化についても十分に注意している。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の対応について職員会議で話し合った。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 内部の避難訓練は行っているが、地域の人々の協力を得るまでにはなっていない。 (外部評価) マニュアルを作成しており、年2回の防災訓練を実施しているが、地域の協力を得るまでには至っていない。	※	地域性もあって難しい面はあるが、地区の自主防災組織関係者や近隣住民等と連携して検討や訓練を続けていける関係づくりを望みたい。また、火災だけでなく地震等の非常災害時における対応や備蓄の検討、喫煙者への対応等についても取組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族にも、リスクについての説明を行い、できるだけ抑圧感のないような対応策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常より観察を行い、緊急時には病院受診等で対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬時には、二人で確認し誤薬がないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳やヨーグルト、水分摂取に努め、必要時には薬を服用している。テレビ体操をしたり、おやつの前に体操の時間を設けたりしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個人の生活習慣に合わせた支援を行っている。十分にできない利用者には見守り、介助を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人に合わせた摂取量を確保し、必要な人には水分量をチェックし、居室内にも飲み物を用意している。 (外部評価) 食材と共に献立表と調理法を業者に配達してもらっており、栄養面での支援はできている。職員は摂取量や水分量が一人ひとり確保できているか確認している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 手洗いをこまめに行い、アルコール消毒も行っている。利用者、職員、全員にインフルエンザの予防接種を行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具を清潔に保ち、食材の保管にも気を配っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りには花を植え季節感を出している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有の廊下に楽器を置いて、体操や歌の時間に利用している。 (外部評価) 廊下、トイレ、浴室等に手すりや滑り止め等を使用して安全に配慮している。台所とリビングは見通しがよく、作業しやすい。リビングはイス、テーブル、ソファの配置で個々に居場所ができています。日差しは簾やカーテンで調節している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下にソファを置いており、個人や利用者同士で利用している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅より持ち込まれた物もあり、居室内は自由にレイアウトしていただいている。状況の変化に応じて模様替えもしている。 (外部評価) 畳の部屋、フローリングの部屋など、必要や好みによって室内を整えている。自宅から仏壇、写真、手芸品、花、鏡台、タンス、机、イスなどを各自持ち込み、個性を感じる居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は常に行い、温度調節は利用者に合わせている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 個人の身体機能に応じた環境作りを行っており、身体機能の変化にも柔軟に対応している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 環境づくりはもとより、混乱や失敗に陥ったときにも安心して過ごすことができるように気をつけている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 物干し台、ウッドデッキを活用している。プランターにはハーブを栽培して料理にも利用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の生活史や趣味、嗜好をお伺いしどんな思いで暮らしてきたか、また、どんな風に暮らしたいか、話し合いの中で本人の意向を汲んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	特に決まったことはない。その日の状況により入浴や外出をしている。日中は、比較的ゆったりと過ごすことができている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居室や食堂、リビングルームと思いつきの場所で、それぞれのペースで過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者個人の笑顔を引き出すことができている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できる範囲で希望を受け入れている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	病院に隣接しており、夜間や緊急時にも対応ができる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の観察を怠らず、食事や排泄にも配慮している。また、状況の変化に合わせて病院受診等も行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	① ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の話には、積極的に耳を傾け、話しやすい雰囲気作りを心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	もともと近所に住んでいた人がおり地域の方が回数は少ないが、訪ねて下さる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	会議には、町内会長さん、民生委員さんのご参加をお願いしている。町内の盆踊り大会では、当園用にスペースを確保していただいている。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いろんな利用者に関わることが楽しい。スタッフに恵まれている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できるだけ希望に添えるようにしているが、すべての希望に応えることはできない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	すべてのご要望に応じていくことは難しい面がある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)